

常任委員会での審査

牧之原市議会では、今までの町議会とは異なり、定例会で市長から提案された議案をすべて所管の常任委員会に付託し、審査を行うことになりました。

これは、それぞれの議案を各委員会で、細かく審議するためです。そして、委員会での結論を本会議に上げて、全議員で審議し採決していくというのが、市議会の定例会の流れとなっています。

総務委員会報告

委員長 川島啓司

十二月定例会で、総務委員会に付託された議案は、旧両町の十月十日までの決算の認定や牧之原市の当初予算、条例の制定など十四件あり、委員会において審査の結果、すべて原案どおり認定・可決しました。

市長の提案する具体的政策の最終決定と、行政チェックという議会の使命を確実に果たすべく、総務委員会としてもきびし

く行政に目を向けていきたいと思っております。

総務委員会の所管する部署は総務部・企画部・市民生活部とその他の委員会に属さない事項です。

特に今回は、住民と密接に関係ある「ゴミ処理の問題」について取り組んでいきたいということと、「ゼロエミッションについて」研究していきます。委員ひとりひとりが、それぞれ勉強・調査し、委員会での研究を重ね、総務委員会として市長にも提案していきたいと考えております。

住民の方の意見もどんどんお聞きしたいと思っておりますので、いろいろな場で、是非、議員に皆様の声を聞かせて頂きたいと思っております。

ゼロエミッションとは

廃棄物（ゴミ）を徹底分析し、リサイクルを促進することで、焼却や埋立てによって処分する廃棄物をなくすという意味。温室効果ガスの削減にもつながり、循環型社会の構築に必要不可欠なものと考えられている。

文教厚生委員会報告

委員長 鈴木正樹

所管は、教育委員会及び健康福祉部です。

議案の提出を受けて議会から付託され、事業の現状・問題点・今後の計画などの説明を受け、いろいろな方面から質疑を投げかけ、討論し、採決まで行きます。それを本議会で委員長報告し、委員長は各議員から質疑を受けたあと、討論・採決します。

十二月十六日に、「駿遠学園組合の議員数と規約の変更について」質疑・討論・採決を行いました。最終議会の議場で委員長報告を行い、結論を出します。なお、今後の継続調査について協議し、次のことを決めました。

- 総合センターの建設と運営
- 幼保一元化
- 旧両町の相違点と問題点
- 保健福祉（介護保険等）
- その他

経済建設委員会報告

委員長 博林憲樹

経済建設委員会の守備範囲は、産業経済部・建設部・水道課です。

月一回の定例常任委員会当局側の事業報告や予定事業の説明を受けたり、道路等の現場へ出掛けて、直接見聞、検討、発案したりもしていきます。新市となった今後は、各建設事業現場、工場等の視察を年間計画に基づいて実施し、特に、市道・河川・小農道等、直接市民の要望の多い事項について、実現に向けて積極的に取り組んで参ります。

